

Microsoft			IIM					
パフォーマンスオブジェクト	パフォーマンスカウンター	説明	レコード説明	レコード番号	レコード名	フィールド名	フィールド説明	備考
Processor	–	プロセッサId	個別プロセッサ(Windows)	2110	ATICPU	CPUID	プロセッサId	パフォーマンスモニタのカウンタの追加で、「インスタンス」の欄に出てくる「0」「1」等のCPU番号
Processor Information	Interrupts/sec	ハードウェアの割り込みを、プロセッサが受信、処理した平均率を毎秒の回数で表したものです。遅延プロシージャ呼び出し (DPC) は含まれず、別にカウントされます。この値は、システム クロック、マウス、ディスクドライバ、データ通信ライン、ネットワーク インターフェイス カードおよびその他の周辺機器など割り込みを発生するデバイスの処理状況を間接的に示します。これらのデバイスによるプロセッサへの割り込みは、通常タスクが完了するときまたは注意を必要とするときに発生します。標準スレッドの実行は、割り込みの間は中断します。システム クロックのほとんどは、割り込み処理状況のバックグラウンドを作成しながら、10 ミリ秒ごとにプロセッサに割り込みます。サンプリング間隔の時間で分けられた、最新の 2 つのサンプリングで監視した値の差異が、カウンターに表示されます。	個別プロセッサ(Windows)	2110	ATICPU	INTRPTSEC	ハードウェア割り込みの平均値(/sec)	Control Centerのバージョンが8.4以降かつV05L07R1以降を使用している場合に出力
Processor Information	% Privileged Time	プロセスのスレッドが特権モードでコード実行に費やした経過時間の割合をパーセントで表示します。Windows のシステム サービスは呼び出されると、システム専用データへアクセスするために、しばしば特権モードで実行します。これらのデータはユーザー モードで実行するスレッドのアクセスから保護されています。システムの呼び出しは、明示的に、またはページ フォールトや割り込みのように暗示的に行われる場合があります。以前の一部のオペレーティング システムと異なり、Windows では、ユーザーおよび特権モードの従来の保護に加え、プロセス境界を使って、サブシステムを保護します。アプリケーションに代わって Windows が行う処理には、プロセス内の Privileged Time に加え、別のサブシステム プロセス内で現れるものもあります。	個別プロセッサ(Windows)	2110	ATICPU	SYSUSE	カーネルモード使用率	
Processor Information	% Processor Time	% Processor Time は、プロセッサがアイドル以外のスレッドを実行するために使用した経過時間の割合をパーセントで表示します。プロセッサがアイドル スレッドの実行に使用する時間の割合を計測し、その値を 100% から引いて算出します (各プロセッサには、実行するスレッドが他にない場合に時間が累積されるアイドル スレッドがあります)。このカウンターはプロセッサの処理状況を示す主な指標で、サンプリング間隔で計測されたビジー時間の平均割合をパーセントで表示します。プロセッサがアイドル状態かどうかの判断は、システム クロック ティックの内部サンプリング間隔で実行されます。そのため、現在の高速プロセッサでは、システム時計のサンプリング間隔の間に、プロセッサがスレッド処理に多くの時間を費やしている可能性があり、% Processor Time でプロセッサ使用量が少なく見積られる場合があります。処理負荷に基づくタイマー アプリケーションは、サンプルが取得された直後にタイマーが通知されるため正確に計測されない可能性の高いアプリケーションの一例です。	個別プロセッサ(Windows)	2110	ATICPU	USE	使用率	

Microsoft			IIM					
パフォーマンスオブジェクト	パフォーマンスカウンター	説明	レコード説明	レコード番号	レコード名	フィールド名	フィールド説明	備考
Processor Information	% User Time	ユーザー モードで経過した非アイドルのプロセッサ時間の割合をパーセントで表示します。ユーザー モードは、アプリケーション、環境サブシステムおよび統合サブシステム向けに設計された制限付きの処理モードです。これとは別に、特権モードは、オペレーティング システム コンポーネント向けに設計され、ハードウェアとすべてのメモリに直接アクセスできます。オペレーティング システムは、アプリケーション スレッドを特権モードに切り替え、オペレーティング システム サービスにアクセスできるようにします。このカウンターは、サンプリング時間の割合として平均ビジー時間を表示します。	個別プロセッサ(Windows)	2110	ATICPU	USRUSE	ユーザモード使用率	
LogicalDisk	–	論理ドライブ	デバイス(Windows)	2400	ATDEV	LDISK	論理ドライブ	パフォーマンスモニタのカウンタの追加で、「インスタンス」の欄に出てくるドライブ名
LogicalDisk	–	論理ドライブ	Windowsファイルスペース	2495	ATNTSP	DRIVE	論理ディスク名	パフォーマンスモニタのカウンタの追加で、「インスタンス」の欄に出てくるドライブ名
LogicalDisk	Avg. Disk Queue Length	サンプリング間隔中に選択したディスクのキューに入った読み取りおよび書き込み要求の数の平均値です。	デバイス(Windows)	2400	ATDEV	QUE	待ち要求数	
LogicalDisk	Avg. Disk sec/Read	ディスクからのデータの読み取り時間の平均秒数です。	デバイス(Windows)	2400	ATDEV	RESPTMR	リード時間(秒)	
LogicalDisk	Avg. Disk sec/Transfer	ディスク転送時間の平均秒数です。	デバイス(Windows)	2400	ATDEV	RESPTM	レスポンス時間(秒)	
LogicalDisk	Avg. Disk sec/Write	ディスクへのデータの書き込み時間の平均秒数です。	デバイス(Windows)	2400	ATDEV	RESPTMW	ライト時間(秒)	
LogicalDisk	% Idle Time	サンプリング間隔中にディスクがアイドル状態だった時間の割合をパーセントで表示します。	デバイス(Windows)	2400	ATDEV	USE	ビジー率	「100-% Idle Time」の計算でビジー率を出力
LogicalDisk	Free Megabytes	MB 単位で表示された該当ディスクドライブの未割り当て領域を MB 単位で表示します。1 MB は、1,048,576 バイトです。	デバイス(Windows)	2400	ATDEV	FREEMB	論理ドライブ空領域(MB)	
LogicalDisk	Free Megabytes	MB 単位で表示された該当ディスクドライブの未割り当て領域を MB 単位で表示します。1 MB は、1,048,576 バイトです。	Windowsファイルスペース	2495	ATNTSP	FREEMB	空領域(MB)	
LogicalDisk	% Free Space	選択した論理ディスクドライブ上で使用可能な領域全体に対する空き領域の割合を表示します。	デバイス(Windows)	2400	ATDEV	PCFREE	論理ドライブ空領域(%)	
LogicalDisk	% Free Space	選択した論理ディスクドライブ上で使用可能な領域全体に対する空き領域の割合を表示します。	Windowsファイルスペース	2495	ATNTSP	FREE	空領域(%)	
LogicalDisk	Disk Reads/sec	ディスク上の読み取り操作の速度です。	デバイス(Windows)	2400	ATDEV	RDNUM	リード数(/sec)	
LogicalDisk	Disk Transfers/sec	ディスク上の読み取りおよび書き込み操作の速度です。	デバイス(Windows)	2400	ATDEV	RWNUM	リード/ライト数(/sec)	
LogicalDisk	Disk Writes/sec	書き込み操作中にディスクにバイトが転送される速度です。	デバイス(Windows)	2400	ATDEV	WRNUM	ライト数(/sec)	
LogicalDisk	–	複数項目から算出(アクセス待ち時間(ms)=待ち要求数(個/s)/アクセス回数(read+write/s)*1000 (ただしアクセス回数<1の場合は、アクセス待ち時間を0とする))	デバイス(Windows)	2400	ATDEV	WAITTM	待ち時間(ミリ秒)	
LogicalDisk	–	複数項目から算出(ATDEV.RESPTM*1000)	デバイス(Windows)	2400	ATDEV	SERVTM	サービス時間(ミリ秒)	
NetBEUI	–	デバイス名	Windows NetBEUI	2600	ATNETBEUI	NETDEV	デバイス名	パフォーマンスモニタのカウンタの追加で、「インスタンス」の欄に出てくるデバイス名。 Windows Server 2008以降は廃止
NetBEUI	Connections Open	このプロトコル用に現在開かれている接続数です。このカウンタは、現時点での接続数のみを示し、一定時間帯における累積値を示すものではありません。	Windows NetBEUI	2600	ATNETBEUI	CURCON	接続数	Windows Server 2008以降は廃止
NetBEUI	Datagrams Sent/sec	コンピュータがデータグラムを送信する率です。	Windows NetBEUI	2600	ATNETBEUI	SNTDGRM	送信データグラム数(/sec)	Windows Server 2008以降は廃止
NetBEUI	Datagrams Received/sec	コンピュータがデータグラムを受信する率です。	Windows NetBEUI	2600	ATNETBEUI	RCVDGRM	受信データグラム数(/sec)	Windows Server 2008以降は廃止
NetBEUI	Frames Sent/sec	コンピュータがデータ フレームを送信する率です。	Windows NetBEUI	2600	ATNETBEUI	SNTFRMS	送信フレーム数(/sec)	Windows Server 2008以降は廃止
NetBEUI	Frames Received/sec	コンピュータがデータ フレームを受信する率です。	Windows NetBEUI	2600	ATNETBEUI	RCVFRMS	受信フレーム数(/sec)	Windows Server 2008以降は廃止

Microsoft			IIM					
パフォーマンスオブジェクト	パフォーマンスカウンター	説明	レコード説明	レコード番号	レコード名	フィールド名	フィールド説明	備考
NetBEUI	Frames Re-Sent/sec	コンピュータがデータ フレーム (パケット) を再送信する率です。	Windows NetBEUI	2600	ATNETBEUI	RSNTFRMS	再送フレーム数(/sec)	Windows Server 2008以降は廃止
NetBEUI	Packets Received/sec	コンピュータがパケットを受信する率です。	Windows NetBEUI	2600	ATNETBEUI	RCVPKTS	受信パケット数(/sec)	Windows Server 2008以降は廃止
NetBEUI	Packets Sent/sec	コンピュータがパケットを送信する率です。	Windows NetBEUI	2600	ATNETBEUI	SNTPKTS	送信パケット数(/sec)	Windows Server 2008以降は廃止
NetBEUI	Bytes Total/sec	Frame Bytes/sec と Datagram Bytes/sec の合計値です。この値はネットワークでプロトコル転送 (送受信) された総バイト数ですが、カウントされるのはフレーム単位 (パケット) で転送されたバイト数のみです。	Windows NetBEUI	2600	ATNETBEUI	TTLBYTES	送受信バイト数(KB/sec)	Windows Server 2008以降は廃止
NetBEUI	Datagrams/sec	コンピュータがデータグラムを処理する率です。このカウンタの値は送信されたデータグラムと受信したデータグラムの合計値です。	Windows NetBEUI	2600	ATNETBEUI	TTLDGRM	送受信データグラム数(/sec)	Windows Server 2008以降は廃止
NetBEUI	Frames/sec	コンピュータがデータ フレーム (またはパケット) を処理する率です。このカウンタの値は、送信されたデータ フレームと受信されたデータ フレームの合計値です。	Windows NetBEUI	2600	ATNETBEUI	TTLFRMS	送受信フレーム数(/sec)	Windows Server 2008以降は廃止
NetBEUI	Packets/sec	コンピュータがパケットを処理する率です。このカウンタの値は、1 秒あたりに送信および受信したパケットの合計値です。	Windows NetBEUI	2600	ATNETBEUI	TTLPKTS	送受信パケット数(/sec)	Windows Server 2008以降は廃止
Paging File	–	ページファイル名	ページファイル	2480	ATPAGEF	PAGEFILE	ページファイル名	パフォーマンスモニタのカウンタの追加で、「インスタンス」の欄に出てくるページファイル名
Paging File	–	ページファイル名	Windowsファイルスペース	2495	ATNTSP	PFNAME	ページファイル名	パフォーマンスモニタのカウンタの追加で、「インスタンス」の欄に出てくるページファイル名
Paging File	% Usage	使用中のページ ファイル インスタンスの合計をパーセントで表示します。Process¥¥Page File Bytes の項も参照してください。	ページファイル	2480	ATPAGEF	USE	使用率	
Paging File	% Usage	使用中のページ ファイル インスタンスの合計をパーセントで表示します。Process¥¥Page File Bytes の項も参照してください。	Windowsファイルスペース	2495	ATNTSP	PUSE	使用率	
Paging File	% Usage Peak	ページ ファイル インスタンスのピーク時の使用率をパーセントで表示します。Process¥¥Page File Bytes Peak の項も参照してください。	ページファイル	2480	ATPAGEF	PEAKUSE	最大使用率	
PhysicalDisk	Instance	物理ディスク名	デバイス(Windows)	2400	ATDEV	DISKID	物理ディスク名	パフォーマンスモニタのカウンタの追加で、「インスタンス」の欄に出てくるディスク番号
PhysicalDisk	Avg. Disk Queue Length	サンプリング間隔中に選択したディスクのキューに入った読み取りおよび書き込み要求の数の平均値です。	デバイス(Windows)	2400	ATDEV	QUE	待ち要求数	
PhysicalDisk	Avg. Disk sec/Read	ディスクからのデータの読み取り時間の平均秒数です。	デバイス(Windows)	2400	ATDEV	RESPTMR	リード時間(秒)	
PhysicalDisk	Avg. Disk sec/Transfer	ディスク転送時間の平均秒数です。	デバイス(Windows)	2400	ATDEV	RESPTM	レスポンス時間(秒)	
PhysicalDisk	Avg. Disk sec/Write	ディスクへのデータの書き込み時間の平均秒数です。	デバイス(Windows)	2400	ATDEV	RESPTMW	ライト時間(秒)	
PhysicalDisk	% Idle Time	サンプリング間隔中にディスクがアイドル状態だった時間の割合をパーセントで表示します。	デバイス(Windows)	2400	ATDEV	USE	ビジー率	「100-% Idle Time」の計算でビジー率を出力
PhysicalDisk	Disk Reads/sec	ディスク上の読み取り操作の速度です。	デバイス(Windows)	2400	ATDEV	RDNUM	リード数(/sec)	
PhysicalDisk	Disk Transfers/sec	ディスク上の読み取りおよび書き込み操作の速度です。	デバイス(Windows)	2400	ATDEV	RWNUM	リード/ライト数(/sec)	
PhysicalDisk	Disk Writes/sec	ディスク上の書き込み操作の速度です。	デバイス(Windows)	2400	ATDEV	WRNUM	ライト数(/sec)	
PhysicalDisk	–	複数項目から算出(アクセス待ち時間(ms)=待ち要求数(個/s)÷アクセス回数(read+write/s)*1000 (ただしアクセス回数<1の場合は、アクセス待ち時間を0とする)	デバイス(Windows)	2400	ATDEV	WAITTM	待ち時間(ミリ秒)	
PhysicalDisk	–	複数項目から算出(ATDEV.RESPTM*1000)	デバイス(Windows)	2400	ATDEV	SERVTM	サービス時間(ミリ秒)	
Process	–	コマンド名	アカウント(Windows)	2500	ATACCD	CMDNAME	コマンド名	パフォーマンスモニタのカウンタの追加で、「インスタンス」の欄に出てくるプロセス名
Process	ID Process	該当プロセスの一意の識別子です。この番号は再利用され、任意のプロセスを、そのプロセスが終了するまでの間のみ識別します。	アカウント(Windows)	2500	ATACCD	PROCESSID	プロセスID	

Microsoft			IIM					
パフォーマンスオブジェクト	パフォーマンスカウンタ	説明	レコード説明	レコード番号	レコード名	フィールド名	フィールド説明	備考
Process	% Privileged Time	プロセスのスレッドが特権モードでコードの実行に費やした経過時間の割合をパーセントで表示します。Windows のシステム サービスは呼び出されると、システム専用データへアクセスするために、しばしば特権モードで実行します。これらのデータはユーザー モードで実行するスレッドからはアクセスされません。システムの呼び出しは明示的に、またはページ フォールトや割り込みのように暗黙的に行われる場合があります。以前のオペレーティング システムとは異なり、Windows は従来のユーザー保護および特権モードに加えて、サブシステム保護にプロセス境界を使用します。アプリケーションに代わって Windows が行う処理には、プロセスの Privileged Time に加え、別のサブシステム プロセス内で現れるものもあります。	アカウント(Windows)	2500	ATACCD	SYSUSE	カーネルモード使用率	
Process	% Processor Time	該当プロセスのスレッドすべてが、命令を実行するためにプロセッサを使用した経過時間の割合です。命令はコンピューター内の実行の基本ユニット、スレッドは命令を実行するオブジェクト、プロセスはプログラム実行時に作成されるオブジェクトです。任意のハードウェア割り込みやトラップ条件を処理するために実行されるコードもこのカウントに含まれます。	アカウント(Windows)	2500	ATACCD	CPUUSE	プロセッサ使用率	
Process	% User Time	該当プロセスのスレッドがユーザー モードでコードを実行するために費やす時間の割合をパーセントで表示します。アプリケーション、環境サブシステムおよび統合サブシステムはユーザー モードで実行します。ユーザー モードで実行するコードは、Windows の executive、カーネル、デバイスドライバの整合性を損ないません。以前のオペレーティング システムとは異なり、Windows は従来のユーザー保護および特権モードに加えて、サブシステム保護にプロセス境界を使用します。アプリケーションに代わって Windows が行う処理には、プロセスの privileged time に加え、別のサブシステム プロセス内で現れるものもあります。	アカウント(Windows)	2500	ATACCD	USRUSE	ユーザモード使用率	
Process	Page File Bytes	このプロセスがページング ファイルでの使用に予約していた仮想メモリ領域の現在の値をバイト数で表示します。ページング ファイルは、ほかのファイルには含まれないプロセスが使用するメモリのページを格納するために使用されます。ページング ファイルはすべてのプロセスに共有され、ページング ファイルの領域が不足すると、ほかのプロセスはメモリを割り当てることができなくなります。ページング ファイルがない場合は、物理メモリでの使用に予約していた仮想メモリ領域の現在の値を表示します。	アカウント(Windows)	2500	ATACCD	PFUSE	ページファイルサイズ(MB)	
Process	Page File Bytes Peak	このプロセスがページング ファイルでの使用に予約していた仮想メモリ領域の最大値をバイト数で表示します。ページング ファイルは、ほかのファイルには含まれないプロセスが使用するメモリのページを格納するために使用されます。ページング ファイルはすべてのプロセスに共有され、ページング ファイルの領域が不足すると、ほかのプロセスはメモリを割り当てることができなくなります。ページング ファイルがない場合は、物理メモリでの使用に予約していた仮想メモリ領域の最大値を表示します。	アカウント(Windows)	2500	ATACCD	PKPFUSE	最大ページファイルサイズ(MB)	
Process	Page Faults/sec	該当プロセスで実行しているスレッド内でのページ フォールトの発生率です。ページ フォールトは、スレッドがメイン メモリのワーキング セットにない仮想メモリ ページを参照するときに発生します。そのページがスタンバイリストにあって既にメイン メモリ上にあることになる場合、またはそのページを共有している別のプロセスがそのページを使用中の場合、ページがディスクから取り出されない可能性があります。	アカウント(Windows)	2500	ATACCD	PGFAULT	ページフォルト(/sec)	Control Centerのバージョンが8.4以降かつV05L06R1以降を使用している場合に出力

Microsoft			IIM					
パフォーマンスオブジェクト	パフォーマンスカウンター	説明	レコード説明	レコード番号	レコード名	フィールド名	フィールド説明	備考
Process	Virtual Bytes Peak	プロセスが任意の時点で使用した仮想アドレス領域の最大サイズをバイト数で表示します。仮想アドレス領域の使用は、必ずしもディスクあるいはメイン メモリ ページを使用することにはつながりません。仮想領域は限定されており、プロセスがライブラリをロードする能力が限定されます。	アカウント(Windows)	2500	ATACCD	PKVMUSE	最大仮想アドレスサイズ(MB)	
Process	Working Set Peak	任意の時点での該当プロセスのワーキング セットの最大サイズをバイト数で表示します。ワーキング セットは、プロセスのスレッドが最後に参照したメモリ ページのセットです。コンピューターの空きメモリ領域がしきい値以上ある場合、ページは使用中でなくてもプロセスのワーキング セットに残されます。空きメモリ領域がしきい値を下回る場合、ページはワーキング セットから削除されます。削除されたページが必要な場合、ページがメイン メモリから出る前にページはワーキング セットに戻されます。	アカウント(Windows)	2500	ATACCD	PKMEMUSE	最大ワーキングセットサイズ(MB)	
Process	Pool Nonpaged Bytes	ディスクに書き込むことはできず、割り当てられている限りは物理メモリ内に存在するオブジェクトに使用されるシステム仮想メモリの領域である非ページ プールのサイズをバイト数で表示します。Memory¥¥Pool Nonpaged Bytes は、Process¥¥Pool Nonpaged Bytes とは別に算出されるので、Process(.Total)¥¥Pool Nonpaged Bytes とは異なる場合があります。このカウンターでは、平均値ではなく最新の監視値のみが表示されます。	アカウント(Windows)	2500	ATACCD	POOLNP	非ページプールサイズ(MB)	
Process	Pool Paged Bytes	使用されていない場合はディスクに書き込むことのできるオブジェクトに使用されるシステム仮想メモリの領域であるページ プールのサイズをバイト数で表示します。Memory¥¥Pool Paged Bytes は、Process¥¥Pool Paged Bytes とは別に算出されるので、Process(.Total)¥¥Pool Paged Bytes とは異なる場合があります。このカウンターは、平均値ではなく最新の監視値のみを表示します。	アカウント(Windows)	2500	ATACCD	POOLP	ページプールサイズ(MB)	
Process	Private Bytes	該当プロセスが割り当て、ほかのプロセスと共有できないメモリの現在のサイズをバイト数で表示します。	アカウント(Windows)	2500	ATACCD	PRIVBYTES	プライベートメモリサイズ(MB)	
Process	-	ユーザ名	アカウント(Windows)	2500	ATACCD	USRNAME	ユーザ名	プロセスのユーザ名。WindowsAPIにて取得
Process	Virtual Bytes	プロセスが使用している仮想アドレス領域の現在の大きさをバイト数で表示します。仮想アドレス領域の使用は、必ずしもディスクあるいはメイン メモリ ページを使用することにはつながりません。仮想領域は限定されており、プロセスがライブラリをロードする能力が限定されます。	アカウント(Windows)	2500	ATACCD	VMUSE	仮想アドレスサイズ(MB)	
Process	Working Set	該当プロセスのワーキング セットの現在のサイズをバイト数で表示します。ワーキング セットは、プロセスのスレッドが最後に参照したメモリ ページのセットです。コンピューターの空きメモリ領域がしきい値以上ある場合、ページは使用中でなくてもプロセスのワーキング セットに残されます。空きメモリ領域がしきい値を下回る場合、ページはワーキング セットから削除されます。削除されたページが必要な場合、ページがメイン メモリから出る前にページはワーキング セットに戻されます。	アカウント(Windows)	2500	ATACCD	MEMUSE	ワーキングセットサイズ(MB)	
Server	Server Sessions	サーバー上で現在アクティブなセッションの数です。この値は、現在のサーバーの処理状況を判定する場合に役立ちます。	Windowsサーバー	2212	ATWSEVER	ACTSESS	アクティブセッション数	
Server Work Queues	Queue Length	Blocking キューと Nonblocking キュー内にある作業アイテムの現在の数です。この CPU に対する特別な作業アイテムを処理するために、サーバーがどの程度ビジーであるかを示します。キューの長さが 4 を超える状態が持続する場合、プロセスに大きな負荷がかかっていることを示します。この値はある時点でのカウントで、ある時間間隔での平均値ではありません。	Windowsサーバー	2212	ATWSEVER	BWORKQLEN	サーバー作業キュー長	

Microsoft			IIM					
パフォーマンスオブジェクト	パフォーマンスカウンター	説明	レコード説明	レコード番号	レコード名	フィールド名	フィールド説明	備考
Server	Bytes Received/sec	サーバーがネットワークから受信したバイト数です。サーバーのビジー状態を判定する場合に役立ちます。	Windowsサーバー	2212	ATWSEVER	DATAECV	受信データ(KB/sec)	
Server	Bytes Transmitted/sec	サーバーがネットワークに送信したバイト数です。サーバーのビジー状態を判定場合に役立ちます。	Windowsサーバー	2212	ATWSEVER	DATASENT	送信データ(KB/sec)	
Server	Bytes Total/sec	サーバーがネットワーク間で送受信したバイトの数です。この値は、サーバーのビジー状態を全体的に判定する場合に役立ちます。	Windowsサーバー	2212	ATWSEVER	DATATRANS	送受信データ(KB/sec)	
Server	Files Open	サーバー上で現在開かれているファイルの数です。この値は、現在のサーバーの処理状況を判定する場合に役立ちます。	Windowsサーバー	2212	ATWSEVER	FILESOPEN	オープンファイル数	
System	Context Switches/sec	任意のスレッドからほかのスレッドに切り替わるすべてのプロセスを含めた率です。コンテキストの切り替えは、実行スレッドが任意にプロセスを解放する、優先順位が高いスレッドによって割り込まれる、または Executive またはサブシステム サービスを使用するためにユーザー モードと特権 (カーネル) モードの間で切り替わるときに起こります。これは、すべてのプロセスで実行しているすべてのスレッドの Thread*Context Switches/sec の合計値で、切り替えの回数で計測されます。システムとスレッド オブジェクトにはコンテキスト スイッチ カウンターがあります。このカウンターは、最新の 2 つのサンプリングで監視した値の差をサンプリング間隔の時間で割った値を表示します。	プロセスサ(Windows)	2100	ATCPU	PSW	プロセススイッチ数(/sec)	
Processor Information	% DPC Time (INSTANCE:_Total)	サンプリング間隔でプロセスが遅延プロシージャ呼び出し (DPC) の受け取り、処理に費やした時間の割合をパーセントで表示します。DPC は標準割り込みより低い優先順位で実行する割り込みです。DPC は特権モードで実行するので、% DPC Time は % Privileged Time のコンポーネントです。これは別々にカウントされ、割り込みカウンターのコンポーネントではありません。このカウンターは、サンプリング時間の割合として平均ビジー時間を表示します。	プロセスサ(Windows)	2100	ATCPU	DPCCPU	遅延プロシージャ割り込み使用率	Control Centerのバージョンが8.7以降かつV05L06R1以降を使用している場合に出力。インスタンス(_Total)を基にしている。
Processor Information	% Processor Time (INSTANCE:_Total)	% Processor Time は、プロセスがアイドル以外のスレッドを実行するために使用した経過時間の割合をパーセントで表示します。プロセスがアイドル スレッドの実行に使用する時間の割合を計測し、その値を 100% から引いて算出します (各プロセスには、実行するスレッドが他にない場合に時間が累積されるアイドル スレッドがあります)。このカウンターはプロセスの処理状況を示す主な指標で、サンプリング間隔で計測されたビジー時間の平均割合をパーセントで表示します。プロセスがアイドル状態かどうかの判断は、システム クロック ティックの内部サンプリング間隔で実行されます。そのため、現在の高速プロセスでは、システム時計のサンプリング間隔の間に、プロセスがスレッド処理に多くの時間を費やしている可能性があり、% Processor Time でプロセス使用量が少なく見積もられる場合があります。処理負荷に基づくタイマー アプリケーションは、サンプルが取得された直後にタイマーが通知されるため正確に計測されない可能性の高いアプリケーションの一例です。	プロセスサ(Windows)	2100	ATCPU	IDLE	アイドル率	「100-% Processor Time」の計算でアイドル率を出力。インスタンス(_Total)を基にしている。



Microsoft			IIM					
パフォーマンスオブジェクト	パフォーマンスカウンタ	説明	レコード説明	レコード番号	レコード名	フィールド名	フィールド説明	備考
Processor Information	% Interrupt Time (INSTANCE:_Total)	サンプリング間隔でプロセッサがハードウェア割り込みを受け取り処理するために費やした時間の割合をパーセントで表示します。この値は、システム クロック、マウス、ディスクドライバ、データ通信ライン、ネットワーク インターフェイス カード およびその他の周辺機器など割り込みを発生するデバイスの処理状況を間接的に示します。これらデバイスによるプロセッサへの割り込みは、通常タスクが完了したときまたは注意を必要とするときに発生します。標準スレッドの実行は、割り込みの間は中断します。システム クロックのほとんどは、割り込み処理状況のバックグラウンドを作成しながら、10 ミリ秒ごとにプロセッサに割り込みます。このカウンタは、サンプリング時間の割合として平均ビジー時間を表示します。	プロセッサ(Windows)	2100	ATCPU	INTCPU	ハードウェア割り込み使用率	Control Centerのバージョンが8.7以降かつV05L06R1以降を使用している場合に出力。インスタンス(_Total)を基にしている。
Processor Information	% Privileged Time (INSTANCE:_Total)	プロセスのスレッドが特権モードでコード実行に費やした経過時間の割合をパーセントで表示します。Windows のシステム サービスは呼び出されると、システム専用データへアクセスするために、しばしば特権モードで実行します。これらのデータはユーザー モードで実行するスレッドのアクセスから保護されています。システムの呼び出しは、明示的に、またはページ フォールトや割り込みのように暗黙的に行われる場合があります。以前の一部のオペレーティング システムと異なり、Windows では、ユーザーおよび特権モードの従来の保護に加え、プロセス境界を使って、サブシステムを保護します。アプリケーションに代わって Windows が行う処理には、プロセス内の Privileged Time に加え、別のサブシステム プロセス内で現れるものもあります。	プロセッサ(Windows)	2100	ATCPU	SYSUSE	カーネルモード使用率	インスタンス(_Total)を基にしている。
Processor Information	% User Time (INSTANCE:_Total)	ユーザー モードで経過した非アイドルのプロセッサ時間の割合をパーセントで表示します。ユーザー モードは、アプリケーション、環境サブシステムおよび統合サブシステム向けに設計された制限付きの処理モードです。これとは別に、特権モードは、オペレーティング システム コンポーネント向けに設計され、ハードウェアとすべてのメモリに直接アクセスできます。オペレーティング システムは、アプリケーション スレッドを特権モードに切り替え、オペレーティング システム サービスにアクセスできるようにします。このカウンタは、サンプリング時間の割合として平均ビジー時間を表示します。	プロセッサ(Windows)	2100	ATCPU	USRUSE	ユーザモード使用率	インスタンス(_Total)を基にしている。
-	-	CPU台数	プロセッサ(Windows)	2100	ATCPU	CPUNUM	CPU台数	パフォーマンスモニタのカウンタの追加で、「インスタンス」の欄に出てくる「0」「1」等のCPU番号の数
System	Processor Queue Length	プロセッサ キューにあるスレッドの数です。ディスク カウンタとは異なり、このカウンタは実行準備ができていないスレッドのみをカウントし、実行中のスレッドはカウントしません。プロセッサが複数ある場合でもプロセッサ時間のキューは1つです。そのため、コンピューターにプロセッサが複数ある場合は、この値を負荷を処理しているプロセッサの数で割る必要があります。プロセッサごとの、持続されているプロセッサのキューが10 スレッドに満たない場合は、負荷にもよりますが通常有効です。	プロセッサ(Windows)	2100	ATCPU	QUEUELEN	ランキュー長	
System	System Calls/sec	実行中のすべてのプロセスによるオペレーティング システム サービス ルーチンへの呼び出しを含めた率です。これらのルーチンは、コンピューター上の処理状況のすべての基本的スケジューリングと同期を行い、非グラフィカル デバイス、メモリ管理、名前空間管理へアクセスできるようにします。このカウンタは、最新の2つのサンプリングで監視した値の差をサンプリング間隔の時間で割った値を表示します。	システムコール(Windows)	2230	ATSYSC	SYSCALLS	システムコール数(/sec)	

Microsoft			IIM					
パフォーマンスオブジェクト	パフォーマンスカウンタ	説明	レコード説明	レコード番号	レコード名	フィールド名	フィールド説明	備考
System	File Control Bytes/sec	ファイル システムのコントロール要求およびデバイスの特性と状態に関する情報の要求を含めた、読み取りや書き込み以外のすべてのファイル システム操作のためにバイトが転送される全体的な率です。これはバイト数で計測されます。このカウンタは、最新の 2 つのサンプリングで監視した値の差をサンプリング間隔の時間で割った値を表示します。	ファイル操作	2250	ATFILEOP	FILECBYTES	非読み書き転送バイト(/sec)	
System	File Control Operations/sec	ファイル システムのコントロール要求およびデバイスの特性や状態に関する情報の要求などを含む、読み取りや書き込み以外のファイル システム操作を含めた率です。これは、System: File Data Operations/sec の反対で、1 秒間の操作数で計測されます。このカウンタは、最新の 2 つのサンプリングで監視した値の差をサンプリング間隔の時間で割った値を表示します。	ファイル操作	2250	ATFILEOP	FILECOPS	非読み書き操作数(/sec)	
System	File Data Operations/sec	すべての論理ディスクでの読み取りと書き込みの操作を含めた率です。これは System: File Control Operations/sec の反対です。このカウンタは、最新の 2 つのサンプリングで監視した値の差をサンプリング間隔の時間で割った値を表示します。	ファイル操作	2250	ATFILEOP	FILEOPS	読み書き操作数(/sec)	
System	File Read Bytes/sec	ファイル システム キャッシュからの読み取りを含めた、すべてのデバイスに対するファイル システムの読み取り要求を実行するためにバイトが読み取られる全体的な率です。1 秒間のバイト数で計測されます。このカウンタは、最新の 2 つのサンプリングで監視した値の差をサンプリング間隔の時間で割った値を表示します。	ファイル操作	2250	ATFILEOP	FILERBYTES	読取転送バイト(/sec)	
System	File Read Operations/sec	ファイル システム キャッシュからの読み取り要求を含む、すべてのデバイスに対するファイル システムの読み取り要求を含めた率です。これは、読み取りの回数で計測されます。このカウンタは、最新の 2 つのサンプリングで監視した値の差をサンプリング間隔の時間で割った値を表示します。	ファイル操作	2250	ATFILEOP	FILEROPS	読取操作数(/sec)	
System	File Write Bytes/sec	ファイル システム キャッシュへの書き込みを含めた、すべてのデバイスに対するファイル システムの書き込み要求を実行するためにバイトが書き込まれる全体的な率です。1 秒間のバイト数で計測されます。このカウンタは、最新の 2 つのサンプリングで監視した値の差をサンプリング間隔の時間で割った値を表示します。	ファイル操作	2250	ATFILEOP	FILEWBYTES	書込転送バイト(/sec)	
System	File Write Operations/sec	ファイル システム キャッシュからの書き込み要求を含む、すべてのデバイスに対するファイル システムの書き込み要求を含めた率です。これは、書き込みの回数で計測されます。このカウンタは、最新の 2 つのサンプリングで監視した値の差をサンプリング間隔の時間で割った値を表示します。	ファイル操作	2250	ATFILEOP	FILEWOPS	書込操作数(/sec)	
Memory	Available Bytes	プロセスへの割り当て、またはシステムの使用にすぐに利用可能な物理メモリのサイズをバイト数で表示します。	メモリ(Windows)	2210	ATPAGE	FPAGE_VM	フリーメモリ(MB)	
Memory	Cache Bytes	現在、物理メモリ内においてアクティブになっているシステム ファイル キャッシュの部分のサイズをバイト数で表示します。Cache Bytes と Memory¥¥System Cache Resident Bytes カウンタは同一です。このカウンタは、平均値ではなく最新の監視値のみを表示します。	メモリ(Windows)	2210	ATPAGE	CACHE	キャッシュメモリサイズ(MB)	



Microsoft			IIM					
パフォーマンスオブジェクト	パフォーマンスカウンター	説明	レコード説明	レコード番号	レコード名	フィールド名	フィールド説明	備考
Memory	Cache Faults/sec	ファイル システム キャッシュでシークされたページが検出されず、メモリの別の場所から取り出す(ソフト フォールト) か、またはディスクから取り出す(ハード フォールト) 必要があるときにフォールトが発生する数です。ファイル システム キャッシュは、アプリケーション用に最後に使用されたデータのページが保管される物理メモリの領域です。キャッシュの処理状況は、ほとんどのアプリケーション I/O 操作の信頼できるインジケータです。このカウンターは、各操作でのページフォールの数に関わりなく、フォールトの数を示します。	メモリ(Windows)	2210	ATPAGE	CACHEFLT	キャッシュフォルト(/sec)	
Memory	Committed Bytes	コミットされた仮想メモリのサイズをバイト数で表示します。コミット メモリは、領域がディスク ページング ファイルに予約されている物理メモリです。各物理ドライブにはページング ファイルが 1 つ以上あります。このカウンターは、平均値ではなく最新の監視値のみを表示します。	メモリ(Windows)	2210	ATPAGE	COMMITTED	ページファイル予約サイズ(MB)	Control Centerのバージョンが8.4以降かつV05L06R1以降を使用している場合に出力
Memory	Pool Nonpaged Bytes	ディスクに書き込むことはできず、割り当てられている限りは物理メモリ内に存在するオブジェクトに使用されるシステム仮想メモリの領域である非ページ ブールのサイズをバイト数で表示します。Memory¥¥Pool Nonpaged Bytes は、Process¥¥Pool Nonpaged Bytes とは別に算出されるので、Process(Total)¥¥Pool Nonpaged Bytes とは異なる場合があります。このカウンターでは、平均値ではなく最新の監視値のみが表示されます。	Windowsページプール	2211	ATWPOOL	NONPAGED	非ページプール(MB)	
Memory	Pages/sec	ハード ページ フォールトを解決するためにディスクから読み取られた、またはディスクへ書き込まれたページの数です。このカウンターは、システム全体の遅延を引き起こすフォールトのプライマリインジケータです。Memory¥¥Pages Output/sec および Memory¥¥Pages Input/sec の合計です。ページの数のカウントされるので、変換しないで、Memory¥¥Page Faults/sec などのページ カウントと比較することができます。(通常、アプリケーションが要求する) ファイル システム キャッシュ内および非キャッシュのマップされたメモリ ファイル内のフォールトを解決するために引き出されたページを含みます。	メモリ(Windows)	2210	ATPAGE	PAGES	ハードページフォールトによる転送ページ数(/sec)	Control Centerのバージョンが8.4以降かつV05L05R1以降を使用している場合に出力
Memory	Page Faults/sec	1 秒間のページ フォールト数の平均です。1 秒間のページ フォールト数で計測されます。各フォールト操作では、1 ページのみページ フォールトが発生するので、この数はページ フォールト操作数とも一致します。このカウンターはハード フォールト(ディスク アクセスが必要) およびソフト フォールト(物理メモリ以外の場所でページ フォールトが発生した場所)を含みます。ほとんどのプロセスは、重要でない多くのソフト フォールトを処理できます。ただし、ディスクのアクセスを必要とするようなハード フォールトは重大な遅延の原因となることがあります。	メモリ(Windows)	2210	ATPAGE	PFAULTS	ページフォールト数(/sec)	Control Centerのバージョンが8.4以降かつV05L05R1以降を使用している場合に出力
Memory	Pages Input/sec	ハード ページ フォールトを解決するためにディスクから読み取られたページの率です。プロセスが参照する仮想メモリのページが、ワーキング セットまたは物理メモリのどこにもなく、ディスクから引き出される必要があるときに、ハード ページフォールトが発生します。ページ フォールトが発生すると、読み取り操作の効果を最大にするために、連続する複数のページをメモリに読み取ろうとします。それぞれの読み取り操作中にメモリに読み取られたページ数の平均を判断するために、Memory¥¥Pages Input/sec の値を Memory¥¥Page Reads/sec の値と比較します。	メモリ(Windows)	2210	ATPAGE	PAGEIN_VM	ページイン(/sec)	

Microsoft			IIM					
パフォーマンスオブジェクト	パフォーマンスカウンター	説明	レコード説明	レコード番号	レコード名	フィールド名	フィールド説明	備考
Memory	Cache Bytes Peak	システムが最後に再起動されてからシステム ファイル キャッシュが使用した最大バイト数です。この値は、キャッシュの現在のサイズを超える場合があります。このカウンターは、平均値ではなく最新の監視値のみを表示します。	メモリ(Windows)	2210	ATPAGE	PKCACHE	最大キャッシュメモリサイズ(MB)	
Memory	Pool Paged Bytes	使用されていない場合はディスクに書き込むことのできるオブジェクトに使用されるシステム仮想メモリの領域であるページ プールのサイズをバイト数で表示します。Memory¥¥Pool Paged Bytes は、Process¥¥Pool Paged Bytes とは別に算出されるので、Process(Total)¥¥Pool Paged Bytes とは異なる場合があります。このカウンターは、平均値ではなく最新の監視値のみを表示します。	Windowsページプール	2211	ATWPOOL	PAGED	ページプール(MB)	
Memory	Pages Output/sec	物理メモリの領域を解放するためにディスクに書き込まれたページの数です。ページは、物理メモリ内で変更された場合にのみディスクに書き戻されるので、コードではなくデータを保持します。ページ出力率が高いと、メモリ不足になる場合があります。物理メモリが不足している場合、Windows はメモリ領域を解放するためにページをディスクに書き戻します。このカウンターはページの数を示すので、変換しないでほかのページ カウントと比較できます。	メモリ(Windows)	2210	ATPAGE	PAGEOUT_VM	ページアウト(/sec)	
Memory	Pool Paged Resident Bytes	現在、物理メモリ内にあってアクティブになっているページ プールの部分のサイズをバイト数で表示します。ページ プールは、使用されていない場合はディスクに書き込むことのできるオブジェクトに使用されるシステム仮想メモリの領域です。このカウンターは、平均値ではなく最新の監視値のみを表示します。	Windowsページプール	2211	ATWPOOL	PAGEDRES	常駐ページプール(MB)	
パフォーマンスオブジェクト以外から取得	Windowsの「GlobalMemoryStatusEx」関数を使用して取得	物理メモリーサイズ(MB)	メモリ(Windows)	2210	ATPAGE	PHYSMEM	物理メモリーサイズ(MB)	Control Centerのバージョンが8.4以降かつV05L06R1以降を使用している場合に出力
Network Interface	–	アダプタ名	Windows TCP/IP	2610	ATTCPPI	ADP	アダプタ名	パフォーマンスモニタのカウンタの追加で、「インスタンス」の欄に出てくるアダプタ名
Network Interface	Bytes Received/sec	ネットワーク アダプター上で受信されるバイトの率です。これにはフレーム文字も含まれます。Network Interface¥Bytes Received/sec は Network Interface¥Bytes Total/sec のサブセットです。	Windows TCP/IP	2610	ATTCPPI	RCVKB	受信バイト数(KB/sec)	
Network Interface	Bytes Sent/sec	ネットワーク アダプター上で送信されるバイトの率です。これにはフレーム文字も含まれます。Network Interface¥Bytes Sent/sec は Network Interface¥Bytes Total/sec のサブセットです。	Windows TCP/IP	2610	ATTCPPI	SNTKB	送信バイト数(KB/sec)	
Network Interface	Bytes Total/sec	各ネットワーク アダプター上で送受信されるバイトの率です。これにはフレーム文字も含まれます。Network Interface¥Bytes Received/sec は Network Interface¥Bytes Total/sec および Network Interface¥Bytes Sent/sec の合計です。	Windows TCP/IP	2610	ATTCPPI	TTLKB	送受信バイト数(KB/sec)	
Network Interface	Packets Outbound Errors	エラーが原因で伝送されなかった発信パケットの数です。	Windows TCP/IP	2610	ATTCPPI	ERRPKTS	送信エラーパケット	
Network Interface	Output Queue Length	発信パケットのキューの長さをパケット単位で表示します。このキューが 2 より長い場合は処理遅延が発生するので、ボトルネックを見つけ、可能であれば除去してください。Network Driver Interface Specification (NDIS) が要求をキューに入れるので、このカウンターの値は常に 0 です。	Windows TCP/IP	2610	ATTCPPI	QUEPKTS	送信キュー長	
Network Interface	Packets Received/sec	ネットワーク インターフェイス上で受信されるパケットの率です。	Windows TCP/IP	2610	ATTCPPI	RCVPKTS	受信パケット数(/sec)	
Network Interface	Packets Sent/sec	ネットワーク インターフェイス上で送信されるパケットの率です。	Windows TCP/IP	2610	ATTCPPI	SNTPKTS	送信パケット数(/sec)	
Network Interface	Packets/sec	ネットワーク インターフェイス上で送受信されるパケットの率です。	Windows TCP/IP	2610	ATTCPPI	TTLPKTS	送受信パケット数(/sec)	